

令和3年度

大学院工学研究科
博士前期課程学生募集要項
(第1次募集・第2次募集)

一般入試
(学力検査方式)

社会人入試



豊橋技術科学大学

I. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学を探究し、より高度な技術を開拓する学問としての“技術科学”の教育・研究を使命としています。この使命のもと、博士前期課程では、特色ある技術科学教育を通じて、豊かな人間性と、自然と共生する心を持つ実践的・創造的・指導的能力に加え、高度技術開発能力を備えたグローバルに活躍できる上級技術者・研究者、持続的発展可能型社会に貢献できる挑戦的技術者・研究者を育成します。

そのため、本学では次のような人物を広く求めます。

1. 人と自然を愛し、地域社会やグローバル社会の発展に貢献する志を持つ人
2. 技術や科学を探究する志を持ち、それらの学習に必要な基礎学力がある人
3. 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く志を持つ人

II. 各専攻の入学者受入方針（アドミッションポリシー）

〔機械工学専攻〕

機械工学専攻では、機械工学に関する専門的知識を有し、それらを先進的なものづくりや独創的な機械・装置、システムの設計・開発に応用し得る実践的・創造的・指導的能力を備えた、グローバルに活躍できる上級技術者・研究者、持続的発展社会に貢献できる挑戦的技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・機械工学の基礎知識と実践的能力を十分に身につけ、この分野の研究に主体的・積極的に取り組む意欲と行動力がある人
- ・発想力が豊かで、新しい問題に対して挑戦的に取り組み、社会の発展に貢献する意欲がある人
- ・高いレベルの思考力・判断力・コミュニケーション能力の獲得に意欲がある人

〔電気・電子情報工学専攻〕

電気・電子情報工学専攻では、電気・電子情報工学の発展を支える材料・プロセス技術、エネルギーシステム、集積電子デバイスおよび情報通信システムなどの技術に精通し、実践的・創造的・指導的能力、高度技術開発能力を備えた、グローバルに活躍できる上級技術者・研究者、持続的発展社会に貢献できる挑戦的技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・電気電子材料、電気システム、集積電子システムおよび情報通信システムのそれぞれの分野で、高度な技術開発能力を備えたグローバルに活躍できる高度上級技術者を志す人
- ・旺盛な好奇心を持ち能動的で自覚的に課題研究・解決に取り組む意欲がある人
- ・自然科学の体系を系統的に理解し、それを応用して新しい技術を創造する意欲がある人
- ・英語、国語および専門知識などを駆使したグローバルコミュニケーション能力の獲得に意欲がある人

〔情報・知能工学専攻〕

情報・知能工学専攻では、情報・知能工学に関する網羅的かつ専門的知識を有し、それら先進的な基礎技術、ならびに応用システム構築に関する高度な技術開発・設計を行うことのできる実践的・創造的・指導的能力を備えた、グローバルに活躍できる上級技術者・研究者、持続的発展社会に貢献できる挑戦的技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・情報技術を基盤とする技術分野で、専門的知識・能力の修得に自律的に取り組む意欲を持ち、創造的・探究的に持続力を持って研究を遂行できる人
- ・IT・ICT技術を応用として利用する分野で、先導的な情報技術者として修得した先進情報技術を駆使し、大規模統合情報システムを企画・設計・実装・保守にわたりリーダーとして活躍できる人
- ・人と自然と機械との調和を重視し、語学やコミュニケーション能力を有し、国内外でグローバルな視点から物事を判断でき活躍できる豊かな見識を持つ人

〔応用化学・生命工学専攻〕

応用化学・生命工学専攻では、応用化学・生命科学分野および関連分野に関する最先端の高度な専門的知識だけでなく、その周辺分野についての幅広い学識を備え、それらを総合的に活用して技術的課題を解決できる実践的・創造的・指導的能力を備えた、グローバルに活躍できる上級技術者・研究者、持続的発展社会に貢献できる挑戦的技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・物理、化学、生物学の大学学部レベルの基礎を修得し、応用化学・生命科学分野の先端的研究、融合研究および応用研究に強い関心と意欲がある人

- ・幅広い人間性と考え方、倫理観と社会性を有し、人類と自然との共生、公共の福祉を考慮し、高度な最先端の専門知識を総合的に活用して技術的課題を解決できる上級技術者・研究者を志す人
- ・国際コミュニケーション能力の獲得に意欲的で、グローバルな視点から判断・活躍できる上級技術者・先導的研究者を志す人

〔建築・都市システム学専攻〕

建築・都市システム学専攻では、都市・地域の建築・社会基盤施設およびそれらを取りまく環境を、将来を見据えてデザインするとともに、それらをシステムとしてマネジメントするための高度な能力を有する実践的・創造的・指導的能力を備えた、グローバルに活躍できる上級技術者・研究者、持続的発展社会に貢献できる挑戦的技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・自然環境、社会システム、地域文化など人間生活に関わる幅広い問題について関心を持ち、問題解決に貢献しようとする意欲がある人
- ・建築、社会基盤分野の専門技術を修得したもので、この分野の新しい研究と実践に意欲的に取り組む意欲がある人
- ・創意工夫をこらした発想に富み、難しい問題に対しても主体的、積極的に取り組むことができる人

Ⅲ. 入学者選抜方針

豊橋技術科学大学大学憲章の基本理念、教育の目標に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

○一般入試（学力検査方式）

入学の機会を広く保障するため、受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試（学力検査方式）を実施します。一般入試（学力検査方式）では、大学院で学ぶために必要な基礎学力および専門分野の専門的知識を有しているかを、基礎科目の筆記試験および本学が指定する英語資格・検定試験のスコア、成績証明書等により評価します。また、専門分野における学習および研究遂行能力や資質並びに志望動機や研究意欲等を口述試験および面接試験により評価します。

○社会人入試

多様化、高度化が進む科学技術の発展に貢献する上級技術者・研究者を育成するため、社会経験を有する者を対象とした社会人入試を実施します。社会人入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力を有しているかを、本学が指定する英語資格・検定試験のスコア、成績証明書等により評価します。また、専門分野における学習および研究遂行能力や資質並びに志望動機や研究意欲等を口述試験および面接試験により評価します。

Ⅳ. 募集人員

研究科	専攻	募集人員（人）	
		一般入試	社会人入試
工学研究科	機械工学専攻	105	若干名
	電気・電子情報工学専攻	85	若干名
	情報・知能工学専攻	85	若干名
	応用化学・生命工学専攻	65	若干名
	建築・都市システム学専攻	55	若干名
計		395	若干名

備考 一般入試の募集人員には、社会人入試、外国人留学生入試、高等専門学校専攻科修了生推薦入試の募集人員を含みます。また、第2次募集はいずれの入試区分も若干名の募集とします。

V. 出願及び入学試験の方法等

〔一般入試(学力検査方式)〕

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び令和2年度卒業見込みの者
 - (2) 大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和3年3月31日までに取得見込みの者
 - (7) 専修学校の専門課程（修了年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和3年3月31日までに22歳に達するもの
 - (11) 大学に3年以上在学した者又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設で、文部科学大臣が別に定めるものの当該課程を修了した者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学大学院が認めたもの
 - (12) 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生研究員等として相当期間（おおむね1年以上）研究に従事しており、令和3年3月31日までに22歳に達するもの
- (注1) 出願資格(9)(10)(12)により出願する者は、必ず事前に11ページにより所定の手続きを行ってください。
- (注2) 出願資格(11)により出願し、合格した者の入学資格については、令和3年3月に審査を行います。

要件については、以下を全て満たす必要がありますので、注意してください。

- ① 令和3年3月31日において、大学等の在学期間が3年以上となる者
 - ② 令和3年3月31日までに、在学する大学等の卒業（修了）に必要な単位数の85%以上の単位を修得する者
 - ③ ②で修得した単位のうち、最上位の成績評価（点数による場合は、100点満点に換算して80点以上のもの）が80%以上である者
- 審査に必要な書類等については、次のとおりです。（詳細は合格通知書送付時に通知します。）
- ① 成績証明書（在学する大学等において作成したもの）
 - ② 教育課程表（卒業（修了）要件、講義内容等が詳細に記載されたもの）

なお、在学する大学等の学籍上の身分は、退学となります。

したがって、各種国家試験等の受験資格で、大学等の学部を卒業していることを要件としているものについては、受験資格がないこととなるので、十分注意してください。

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

【第1次募集】

願書受付期間※	令和2年7月27日(月)～令和2年7月30日(木)
出願登録期間	令和2年7月22日(水)9時00分～令和2年7月30日(木)17時00分
検定料支払期限	令和2年7月30日(木)23時59分

※7月30日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

※7月27日(月)10時～15時のみ、本学事務局棟1階小会議室にて持参での出願を受け付けます。
(これ以外の時間の持参による受付は行いません)

【第2次募集】

願書受付期間※	令和2年12月18日(金)～令和2年12月24日(木)
出願登録期間	令和2年12月14日(月)9時00分～令和2年12月24日(木)17時00分
検定料支払期限	令和2年12月24日(木)23時59分

※12月24日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

※12月18日および21日の10時～15時のみ、本学B棟入試課にて持参での出願を受け付けます。
(これ以外の時間の持参による受付は行いません)

(2) 出願方法

出願の方法は、次の4ステップです。

【ステップ1】インターネット出願登録

インターネット出願登録期間に下記URLへアクセスし、必要事項を入力してください。

URL <https://www.tut.ac.jp/exam/exam-webentry.html>

【ステップ2】検定料支払い

検定料支払期限までに、コンビニエンスストア等で検定料を支払ってください。

【ステップ3】出願書類送付

「(3)出願書類等」を願書受付期間内に入試課入試実施係へ簡易書留速達で郵送、または、窓口開設日に持参してください。それ以外の方法による提出は受理しません。

○出願書類等の郵送先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学入試課入試実施係

【ステップ4】受験票の印刷

出願書類を受理した後、受験票印刷可能日(第1次募集は8月7日、第2次募集は1月21日)から受験票の印刷が可能となります。申込(出願内容)確認画面からログインし、受験時まで自身で必ず印刷(A4サイズ用の紙)してください。印刷した受験票は、試験当日必ず持参してください。

※インターネットを利用することができない場合は、本学入試課まで連絡してください。

(3) 出願書類等

(出願資格(9)(10)(12)に該当する者の出願書類等については、別途当該志願者に通知します。)

書 類 等	提出該当者	摘 要
1 出願確認票	全 員	出願登録後、A4サイズで印刷してください。
2 写真票	全 員	出願登録後、A4サイズで印刷し、写真を貼付してください。 写真は、正面上半身脱帽(縦40mm×横30mm)で出願3か月以内に撮影したものを使用してください。
3 成績証明書	大学・高等等 出 身 者	出願資格に係るもので出身大学長(学長)等が作成のうえ、厳封したもの。 なお、大学編入者及び高専専攻科出身者は学部相当分(高専本科等)の成績証明書も提出すること。 (本学に3年次編入した者については高専本科の成績証明書の提出は不要)

4	卒業(見込)・修了(見込) 証明書	全 員	出身大学又は出身学校長等が作成したもの。また、 中国の大学出身者 については下記(注) 5. に留意してください。
5	学士の学位申請予定 証明書	出願資格(2)の者	出身学校長が作成したもの
6	スコア認定証等	全 員	<p>第1次募集については平成30年7月以降、第2次募集については平成30年12月以降に受験した以下のいずれかのスコア認定証等1通(※提出されたスコア認定証等は返却しません)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC® L&R(公開テスト): オフィシャルスコアを提出してください。(原本で写真付きのものに限る) ・TOEIC® L&R(団体特別受験制度[IPテスト]): スコアレポート(個人成績表)を提出してください。 (本学で受験した者: 原本であり、かつ、所属課程での確認が押されているものに限る) (他大学等で受験した者: 原本であり、かつ、IPテストを実施した学校において本学所定の証明書(本学ホームページ https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html よりダウンロード)を発行できるものに限る) ・TOEFL iBT®: ETS に対して「豊橋技術科学大学入試課(Entrance Examination Division Toyohashi University of Technology)」宛にオフィシャルスコアを出願期限までに到着するように送付依頼の手続きをしてください。(本学のDI-CODE:9381) ・IELTS™: 実施機関(日本国内では日本英語検定協会)に対して「豊橋技術科学大学入試課(Entrance Examination Division Toyohashi University of Technology)」宛にIELTS公式の成績証明書(Test Report Form)を出願期限までに到着するように送付依頼の手続きをしてください。
7	出願用封筒	全 員	市販の封筒(角形2号、縦332mm×横240mm)を用意し、宛名ラベルを貼付した上で、出願書類を入れて郵送してください。持参提出の場合でも同様に封筒に入れて提出してください。
8	検定料	全 員	30,000円 出願書類送付前に支払手続きを済ませてください。
9	口述試験参考資料	応用化学・生命工学専攻および建築・都市システム学専攻へ出願する者	資料1および資料2をA4版で作成し、すべての用紙に氏名を記入してください。(資料の詳細は、3. 選抜の方法を参照のこと)
10	住民票又は在留カード(外国人登録証明書の(写))	該当者のみ	(現に日本国に在住している外国人のみ) 国籍・在留資格・期間が記載されたもの

- (注) 1. 出願書類には、黒インク又は黒ボールペンで記入してください。
2. 納入された検定料は返還しません。
3. 出願書類に不備がある場合は受理しません
4. 一度受理した出願書類は返還しません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。
5. 中国の大学を卒業または卒業見込みの者は、上記の書類に加え、中国教育部認証システム(中国高等教育学历学位查询 <http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp> より、以下の書類を印刷し、あわせて提出してください。いずれも証明書の言語表記は英文版のものとし、提出時点で Web 認証の有効期限が1か月以上残っていることが必要です。
- i) 中国の大学を卒業した者: 学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)
- ii) 中国の大学に在学中の者: オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

3. 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、学力検査、英語資格・検定試験のスコア、面接及び成績証明書等の総合判定により行います。

(1) 学力検査科目

基礎科目	機 械 工 学 専 攻	数学（解析学，代数学）
	電 気 ・ 電 子 情 報 工 学 専 攻	数学（解析学，代数学）
	情 報 ・ 知 能 工 学 専 攻	数学（解析学，代数学，確率論）及び情報
	応 用 化 学 ・ 生 命 工 学 専 攻	基礎科目の筆記試験に代えて，当該科目内容について口述試験を行う。
	建 築 ・ 都 市 シ ス テ ム 学 専 攻	基礎科目の筆記試験に代えて，当該科目内容について口述試験を行う。
専門科目	機 械 工 学 専 攻	既修得専門科目について口述試験及び面接
	電 気 ・ 電 子 情 報 工 学 専 攻	口述試験及び面接 (口述試験の参考資料とするため，受験者が(a)「電気・電子工学」，(b)「電子情報通信」，(c)「電気物性化学」の中から出願時に選択した1つの科目について，基礎学力に関する素養調査を行う。口述試験は，素養調査の結果に基づいて行う。)
	情 報 ・ 知 能 工 学 専 攻	既修得専門科目について口述試験及び面接
	応 用 化 学 ・ 生 命 工 学 専 攻	既修得専門科目について口述試験及び面接 口述試験に際し，資料（1．卒業研究の内容をA4版1枚に，2．博士前期課程での希望研究内容や抱負等をA4版1枚にそれぞれまとめる）を出願書類等と一緒に提出すること。資料1，2共にすべての用紙に氏名を記入すること。
	建 築 ・ 都 市 シ ス テ ム 学 専 攻	既修得専門科目について口述試験及び面接 口述試験に際し，資料（1．卒業研究や卒業制作（あるいはその他の作品）をA4版5枚以内に，2．大学院での活動や抱負等をまとめたものをA4版1枚にそれぞれまとめて）を出願書類等と一緒に提出すること。ただし，卒業制作（あるいはその他の作品）の場合，作品の現物は提出しないこと。資料1，2共にすべての用紙に氏名を記入すること。なお，資料1の卒業研究や卒業制作については，構想をまとめたものでも可とする。

注)「出願時に選択」としているものについては，出願時に選択した科目以外の科目で受験することはできないので注意してください。

(2) 面 接 個人面接

4. 学 力 検 査 及 び 面 接 の 日 時 ・ 場 所

(1) 学力検査科目

専 攻	日 時	第1次募集：令和2年 8月27日(木)
		第2次募集：令和3年 2月 2日(火)
機 械 工 学 専 攻	10:30～12:00 (90分) 基礎科目	13:00～既修得専門科目について口述試験及び面接
電 気 ・ 電 子 情 報 工 学 専 攻		13:00～素養調査（40分），口述試験及び面接
情 報 ・ 知 能 工 学 専 攻		13:00～既修得専門科目について口述試験及び面接
応 用 化 学 ・ 生 命 工 学 専 攻	10:30～基礎科目及び既修得専門科目について口述試験及び面接	
建 築 ・ 都 市 シ ス テ ム 学 専 攻	10:30～基礎科目及び既修得専門科目について口述試験及び面接	

受験にあたっては，「Ⅷ. 受験者心得」をよく読んでおいてください。

(2) 場 所 豊橋技術科学大学

〔社会人入試〕

1. 出願資格

3 ページ「1. 出願資格」中(1)～(10)」に該当する者のうち、令和3年3月末までに企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者とします。

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

3 ページ「2. 出願手続」中(1)を参照してください。

(2) 出願方法

4 ページ「2. 出願手続」中(2)を参照してください。

(3) 出願書類等

書 類 等	摘 要
1 出願確認票	出願登録後、A4 サイズで印刷してください。
2 写真台紙	出願登録後、A4 サイズで印刷し、写真を貼付してください。写真は、正面上半身脱帽(縦40mm×横30mm)で出願3か月以内に撮影したものを使用してください。
3 成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成のうえ、厳封したもの。
4 推薦書	本学ホームページ(https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html)よりダウンロードした様式により、勤務先の所属長が作成したもの。
5 卒業証明書	出身大学が作成したもの。
6 スコア認定証等	4 ページ「2. 出願手続」中(3)を参照してください。
7 検定料	30,000 円 出願書類の送付前に支払い手続きを済ませてください。
8 受験承諾書	所属長の受験承諾書を提出してください。
9 業績報告書	企業等における本人の業績報告書(在職中に本人が行った業績内容を示す概要 [1,000 字以内・関係資料がある場合は添付してください。] その他研究論文、技術報告、特許・実用新案等の写し)
10 住民票又は在留カード(外国人登録証明書の(写))	(現に日本国に在住している外国人のみ) 国籍・在留資格・期間が記載されたもの

- (注) 1. 出願書類には、黒インク又は黒ボールペンで記入してください。
2. 納入された検定料は返還しません。
3. 出願書類に不備がある場合は受理しません。
4. 一度受理した出願書類は返還しません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査、英語資格・検定試験のスコア、面接(個人面接)、成績証明書及び推薦書の総合判定により行います。

ただし、一般受験者の基礎科目及び専門科目の筆記試験に代えて、当該科目並びに提出された業績報告書の内容について、口述試験を行います。

(1) 日 時

第1次募集：令和2年 8月27日(木)	10:30～
第2次募集：令和3年 2月 2日(火)	基礎科目及び専門科目(口述試験及び面接)

受験にあたっては、「Ⅷ. 受験者心得」をよく読んでおいてください。

(2) 場 所 豊橋技術科学大学

4. 入学後の取扱い

入学後の企業内における身分については、当該企業の定めによるものとします。

VI. 合格者の発表等

第1次募集：令和2年 9月11日(金) 10時

第2次募集：令和3年 2月19日(金) 10時

本学において合格者の受験番号を掲示発表するとともに、合格者には「合格通知書」をもって通知します。(3ページ出願資格(11)により出願し、合格した者については、令和3年3月に行う入学資格に関する審査についての詳細を併せて通知します。)

また、参考として本学ウェブサイト(入試情報)にも、同日11時に合格者受験番号を掲載します。

電話等による可否の照会には、一切応じません。

なお、合格者(第1次募集)は、「入学意志回答書」(用紙は合格者に送付します)を令和2年10月8日(木)までに入試課入試実施係へ提出してください。

入学手続の詳細については、第1次募集については令和2年11月頃、第2次募集については合格発表時に通知します。

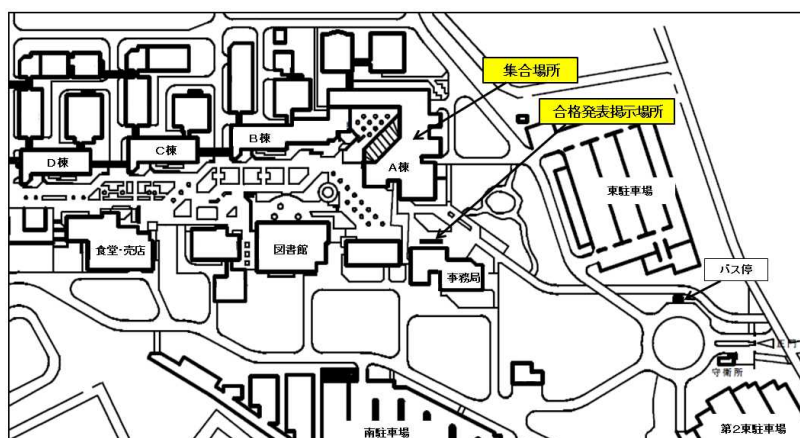
VII. 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ① 入学者選抜、合格者の発表、入学手続及びこれらに付随する事項
- ② 入学後の学務業務における学籍・成績管理
- ③ 入学者選抜方法改善のための統計データ

VIII. 受験者心得

1. 試験当日は、A棟集合場所で各自試験室を確認の上、10時15分までに試験室へ入室してください。
2. 受験票を必ず持参してください。万一、受験票を紛失した場合には、直ちに届け出てください。
3. 試験室で机の上に置いてよいものは、受験票、鉛筆、シャープペン、消しゴム、時計(計時機能だけのもの)、メガネ、ティッシュペーパー(袋から出した中身のみ)だけです。
4. 試験開始後20分までの入室は認めますが、これを過ぎた場合は入室を認めません。
5. 試験中、発言する必要がある場合は、手を挙げて合図し、監督者の許可を得てください。
6. 試験室において、不適切な行為があった者は、監督者が退室を命ずることがあります。
7. 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前にアラームの設定を解除してから電源を切り、かばん等に入れて身につけないでください。
8. 計算機(電卓、計算機能のある時計等)の使用は禁止します。
9. 病気その他事故が生じた時は、速やかに係員に申し出てその指示に従ってください。
10. 昼食は食堂及び売店が利用できます。



IX. 入学試験に関する問い合わせ

◎入学試験に関する問い合わせ先は、下記のとおりです。

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学 入試課入試実施係
電話：(0532)44-6581
E-Mail：nyushi@office.tut.ac.jp

X. 入学時の諸経費

納入経費(予定額)

入 学 料 282,000円

授業料前期分 267,900円 (年額535,800円)

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改訂時から新入学科及び新授業料が適用となります。

XI. その他

1. 障害等(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度及び障害者自立支援法に準拠)がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前にあらかじめ入試課まで問い合わせてください。
2. 志願者又は主たる家計支持者が自然災害等により、り災し、災害救助法の適用を受けた場合、各種入学試験(学部・大学院)において、検定料を免除することがあります。
該当すると思われる場合は、事前に入試課入試実施係までお問い合わせください。
3. 納入された検定料は、次に掲げる場合を除き、いかなる事情があっても返還しません。
 - ① 検定料を二重に払い込んだ場合
 - ② 検定料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ③ 検定料を払い込んだが出願が受理されなかった場合

なお、返還手続に関する詳細は、本学から別途該当者に個別に連絡します。

4. 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人豊橋技術科学大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

大学院工学研究科博士前期課程への 社会人学生のための教育方法の特例について

本学では、社会人入試を実施するとともに、社会人等を対象とした各種公開講座等を実施するなどリフレッシュ教育の推進に力を注いでおり、入学後も社会人が学び易いように教育方法の特例措置を実施する体制を整えています。

1. 教育方法の特例による履修方法について

- (1) 指導教員の合意を得て、授業及び研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。原則として、平日は夜間の18時00分から21時10分までの間、土曜日は8時50分から17時50分までの間が特例による授業等の実施時間帯となります。
- (2) 課程修了に必要な単位のうち、4単位程度を適宜特例により修得することができます。
- (3) 指導教員が、学位論文の作成が計画どおり十分進展しており、かつ、勤務する企業等に研究に係る優れた施設や設備があり、それを利用した方が成果が上がると認める場合は、勤務する企業等においても研究することができます。

※ 入学時に、指導教員の指導のもとに特例措置も含め、2年間の履修計画を作成します。

2. 教育方法の特例を希望する者の事前手続きについて

- (1) 出願前に教務課 ☎ (0532) 44-6545 で教育方法の特例の詳細について、必ず説明を受けてください。
- (2) 指導予定教員又は希望する分野の教員と特例措置の実施についてあらかじめ相談し、指導予定教員又は希望する分野の教員の合意を得たうえで出願してください。

なお、出願に際して、募集要項4ページの出願書類等に加えて、「令和3年度豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士前期課程社会人特例措置希望書」を本学ウェブサイト (<https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html>) よりダウンロードして提出願います。

長期履修制度特別コースについて

本学では、大学院博士前期課程、博士後期課程を対象に長期履修制度を導入しています。

高等専門学校を卒業し就職された社会人等で、勤務等の個別事情に配慮した長期履修計画により、博士前期・博士後期の学位と職業上必要な高度専門知識の取得ができます。

1. 長期履修制度特別コースの概要について

普通課程では、博士前期課程で2年、博士後期課程で3年が標準修業年限となっていますが、この特別コースでは、主に職業を有している等の理由により、標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、事情に応じて標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる制度です。

授業料については、修了までに標準修業年限分の授業料を納めればよいこととなります。例えば博士前期課程を3年で修了したい場合、2年分の授業料総額÷3の授業料を毎年納めればよいこととなります。

職業を持ちながら修学している方、家事・育児・介護をしている方などの便宜を考えた一般社会人の再チャレンジに対しても柔軟に対応ができます。本学の教員の指導の下に、内容によっては企業での職務を博士前期・博士後期の研究の一部または主要な部分として認定することもできます。

2. 長期履修制度の申請資格について

新たに大学院工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）に入学を希望する者のうち次の何れかに該当し、標準修業年限内での修学が困難である者

- ・ 職業を有し就業している者（自営業、臨時雇用、非常勤等を含む）
- ・ 家事、育児、介護などの事情がある者
- ・ その他学長が必要と認めた者

3. 長期履修計画期間について

長期履修を認める期間は、博士前期課程では入学から通算して3年又は4年、博士後期課程では入学から通算して4年から6年の期間で、申請者毎の事情に応じて設定します。時間割等の履修計画については、申請者（学生本人）が指導教員及び授業担当教員等と相談の上決めます。

4. その他

- ・ 申請者は決められた期間に適切に書類を提出し、許可を受けなければなりません。
- ・ 長期履修をいったん認められた後に履修期間を変更（短縮）することもできます。
- ・ 在学中に長期履修に変更することができます。ただし、博士前期課程、博士後期課程とも標準修業年限から長期履修生になる前までの在学期間が1年以上残っている必要があります。
- ・ 条件を満たせば、授業料免除制度が利用できます。

詳細については、教務課 ☎（0532）44-6545に問い合わせてください。

豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士前期課程入学資格審査について

大学院における個別の入学資格審査については、次により行います。

1 入学資格審査の申請受付期間

第1次募集：令和2年 6月15日(月)～令和2年 6月19日(金) (期間内必着)

第2次募集：令和2年11月 9日(月)～令和2年11月13日(金) (期間内必着)

2 申請書類

- (1) 入学試験出願資格認定審査調書 (出願資格(9), (10), (12)該当者)
- (2) 志望理由書 (様式任意。用紙はA4判縦を使用) (出願資格(10)該当者)
- (3) 業務実績の説明書 (出願資格(10)該当者)
- (4) 最終学歴の証明書 (出願資格(9), (10), (12)該当者)
- (5) 最終学歴の成績証明書 (出願資格(9), (10)該当者)
- (6) 研究生, 研究員等として従事していたことを証明する書類 (出願資格(12)該当者)
- (7) その他資格・免許等を有する者はそれを証明する書類 (出願資格(10)該当者)
- (8) 初等教育機関入学から高等教育機関修了までの学歴を記載した書類(様式任意。用紙はA4判縦を使用) (全員)

「入学試験出願資格認定審査調書」については、本学ウェブサイト (<https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html>) より様式をダウンロードして提出願います。

3 申請の方法

申請は、上記2の書類を書留速達郵便で送付してください。なお、郵送以外の提出は受理しません。

[申請書類の郵送先]

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学 入試課入試企画係

4 入学資格の審査方法

入学資格の審査方法は、書類選考とします。ただし、書類選考では資格審査が困難な者に対しては、口頭試問を行います。この場合、該当者には、第1次募集については令和2年7月1日(水)、第2次募集については令和2年11月25日(水)に電話で通知します。

[口頭試問の日時・場所]

第1次募集：令和2年 7月 8日(水) 10時 豊橋技術科学大学
第2次募集：令和2年11月30日(月) 10時 豊橋技術科学大学

5 審査基準

大学院の履修が可能な素養を身につけていることを判断することとし、工学の専門知識・能力、工学に関連する実務経験、志望動機及び学習意欲等について、申請者から提出された書類等により総合的に審査します。

6 審査結果の通知

審査結果は、申請者に文書で、第1次募集については令和2年7月17日(金)、第2次募集については令和2年11月9日(水)に書留速達郵便で通知します。電話等による審査結果の照会には、一切応じません。

7 本件問い合わせ先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学 入試課入試企画係
電話：(0532)44-6583
E-Mail：nyushi@office.tut.ac.jp

お問い合わせ先

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課入試実施係

TEL : 0532-44-6581

FAX : 0532-44-6582

E-mail: nyushi@office.tut.ac.jp

URL: <https://www.tut.ac.jp/>